食物アレルギーに対する栄養・食事指導法の確立に関する研究 「食物アレルギーの栄養食事指導の手引き」改訂

研究分担者

海老澤 元宏 国立病院機構相模原病院臨床研究センター アレルギー性疾患研究部

今井 孝成 昭和大学医学部 小児科学講座

伊藤 浩明 あいち小児保健医療総合センター

高松 伸枝 別府大学 食物栄養科学部

佐藤 さくら 国立病院機構相模原病院臨床研究センター 病態総合研究部 林 典子 学校法人ソニー学園湘北短期大学 生活プロデュース学科

研究要旨

本研究班では、食物アレルギーに関する栄養・食事指導の知識の普及・啓発と患者・保護者による自己管理を進めるために、「食物アレルギーの栄養指導の手引き(以下、栄養指導の手引き)」を改定し、これに対応した患者の自己管理を促す資材を作成し、情報発信することを目標とする。改訂作業は、食物アレルギーの予知・予防・診断・管理・治療等の研究に関して、研究分担者が論文・出版物より情報を収集し、検討委員会にて栄養指導の手引きに載せるべき情報を決定した。具体的な項目として、診療における管理栄養士の業務・役割の明示、原因食物別の栄養・食事指導の確立(臨床的な交差抗原性を含)、食物経口負荷試験後の食事指導法の確立、加工食品のアレルギー表示の改定、保育所・園・学校での安全な給食提供の在り方の明示などに関して検討を進めた。今年度末まで研究分担者により原案作成され、現在、検討委員会での最終修正作業中である。最終的に食物アレルギー患者を関わりのある関係各所から外部コメントを求めた上で改訂作業を終了し、最終的には自己管理を促す資材を作成する。

A. 研究目的

食物アレルギーの管理はこの15年余の厚生労働科学研究において大きく進展した。「食物アレルギーの診療の手引き」を2005年に発刊し、その後3年に1回改定し診療に大きな影響を与えてきた。しかし、全国的な診療の均てん化にはほど遠く、現在も大多数の食物アレルギーの患者や家族において日常の食生活の質の低下は改善できていない。その理由の一つとして食物アレルギーの初期診療において栄養・食事指導が十分に行われずに保護者の不安が大きくなることが挙げられる。

本研究班では、食物アレルギーに関する栄養・食事指導の知識の普及・啓発と患者・保護者による自己管理を進めるために、厚生労働科学研究班において2011年に改定されて以来アップデートされていない「食物アレルギーの栄養指導の手引き(以下、栄養指導の手引き)」を

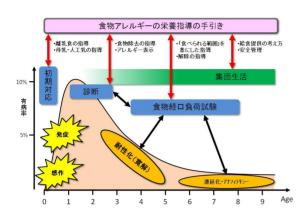
最新の情報を取り込み改定し、これに対応した 患者の自己管理を促す資材を作成し広く全国に 情報発信することを最終到達目標とする。

B.研究方法

食物アレルギーの予知・予防・診断・管理・ 治療等の研究に関して、研究代表者および研究 分担者がこの5年余の進展を論文・出版物より取 り纏め、情報を取捨選択する。その後、検討委 員会にてわが国の実情に合わせて手引きに載せ るべき情報を整理する。具体的な項目として、

診療における管理栄養士の業務・役割の明示、 原因食物別の栄養・食事指導の確立(臨床的な交差抗原性を含)、食物経口負荷試験後の 食事指導法の確立、加工食品のアレルギー表示の改定、保育所・園・学校での安全な給食 提供の在り方の明示などに関して検討を進める。 最終的に食物アレルギー患者を関わりのある関係各所から外部コメントを募集し、改訂作業を 終了する。作成物は年度内にweb上での情報発信 を開始する。

また「食物アレルギー診療ガイドライン2016」 および改定版「栄養指導の手引き」を基に、患 者自己管理を促す資材の開発を行い、同じくwe b上での情報発信を行う。



C.研究結果

本年度は、研究代表者および分担研究者により、この5年余の食物アレルギーの予防・診断・管理・治療等に関する進展を論文・出版物より取り纏めた。その後の検討会にて、改訂版「栄養指導の手引き」に載せるべき情報を整理した。特に診療に関する事項は、2016年10月に刊行された「食物アレルギー診療ガイドライン2016」を基にした。さらに、先進医療機関において食物アレルギーの栄養・食事指導に関する取り組みを収集・整理した。

主な改訂ポイントは、 食物アレルゲンの基 礎知識、 食物経口負荷試験後の食事指導法の 原因食物別の栄養・食事指導の確立 考え方、 (臨床的な交差抗原性を含む)、 加丁食品の アレルギー表示の改定について、 保育所・園・ 学校での安全な給食提供の在り方の明示などと し、その他の項目に関しても現状の診療に合わ せた内容に改定する予定である。また補足とし て、 専門施設での食物経口負荷試験後の積極 的な食事指導法の取り組み、 日常診療の疑問 に答えられるようなQ&Aを作成する予定とし た。平成29年3月時点で、改訂版「栄養指導の手 引き」の執筆項目を決定し、研究分担者が原案 作成を終了した。現在、検討委員会での修正作

業中である。

D.考察、E.結論

今回の改訂作業により、最新の食物アレルギー 診療に応じた栄養指導の手引きに改訂する道筋 が立てられた。食物アレルギー診療の進歩は目覚 ましいため、今後も定期的な見直しが必要である。

F. 健康危険情報

なし

G.研究発表

1. 論文発表

- 1) 日本小児アレルギー学会: 食物アレルギー診療ガイドライン 2016
- 2) Okada Y, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M: Heated egg yolk challenge predicts the natural course of hen's egg allergy: a retrospective study, World Allergy Organ J. 2016; 9(1): 31
- 3) Borres MP, Maruyama N, Sato S, Ebisawa M: Recent advances in component resolved diagnosis in food allergy ,Allergol Int .2016;65(4):378-387
- 4) Sato S, Ogura K, Takahashi K, Sato Y, Yanagida N, Ebisawa M: Usefulness of antigen-specific IgE probability curves derived from the 3gAllergy assay in diagnosing egg, cow's milk, and wheat allergies., Allergol Int. 2016; S1323-8930(16): 30099-5
- 5) Yanagida N, Sato S, Asaumi T, Ebisawa M:
 Comparisons of outcomes with food
 immunotherapy strategies: efficacy, dosing,
 adverse effects, and tolerance, Curr Opin
 Allergy Clin Immunol.. 2016; 16(4): 396-403
- 6) Yanagida N, Minoura T, Takahashi K, Sato S, Ebisawa M: Salmon roe-specific serum IgE predicts oral salmon roe food challenge test results, Pediatr Allergy Immunol. 2016; 27(3): 324-7
- 7) Ogura K, Iikura K, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M: Two patients with acute pancreatitis after undergoing oral food challenges, J Allergy Clin Immunol Pract.. 2016
- 8) Ohtani K, Sato S, Syukuya A, Asaumi T, Ogura K, Koike Y, Iikura K, Yanagida N, Imai T, Ebisawa M: Natural history of immediate-type hen's egg allergy in Japanese children., Allergol Int. 2016; 65(2): 153-157
- 9) Yanagida N, Okada Y, Sato S, Ebisawa M: New approach for food allergy management using low-dose oral food challenges and low-dose oral immunotherapies, Allergol Int. 2016; 65(2): 135-140
- 10) Maruyama N, Sato S, Yanagida N, Cabanos C, Ito K, Borres MP, Movérare R, Tanaka A, Ebisawa M: Clinical utility of recombinant allergen components in diagnosing buckwheat allergy.,

- J Allergy Clin Immunol Pract .2016;4(2):322-323
- 11) Asaumi T, Yanagida N, Sato S, Shukuya A, Nishino M, Ebisawa M: Provocation tests for the diagnosis of food-dependent exercise-induced anaphylaxis., Pediatr Allergy Immunol. 2016; 27(1): 44-9
- 12) Sato M, Shukuya A, Sato S, Komata T, Utsunomiya T, Imai T, Tomikawa M, Ebisawa M: Oral challenge tests for soybean allergies in Japan: A summary of 142 cases. , Allergol Int . 2016; 65(1): 68-73
- 13) Okada Y, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M: Better management of wheat allergy using a very low-dose food challenge: A retrospective study., Allergol Int. 2016; 65(1): 82-87
- 14) Maruyama N, Nakagawa T, Ito K, Cabanos C, Borres MP, Movérare R, Tanaka A, Sato S, Ebisawa M: Measurement of specific IgE antibodies to Ses i 1 improves the diagnosis of sesame allergy., Clin Exp Allergy. 2016; 46(1): 163-71
- 15) 海老澤 元宏:食物アレルギー診療ガイドライン 2016 "食べさせない"のではなく"食べさせる"には? ,アレルギー.2016;65(10):1258-1263
- 16) 浅海 智之,佐藤 さくら,柳田 紀之,山本 幹太, 海老澤 元宏:全身症状を呈したリンゴアレルギー の 5 年間の経過,アレルギー.2016;65(9): 1219-122 3
- 17) 小池 由美,柳田 紀之,今井 孝成,佐藤 さくら,海老澤 元宏:加熱全卵1個が摂取可能になった児に対する全卵マヨネーズ負荷試験,日本小児アレルギー学会誌.2016;30(4):562-565
- 18) 今井 孝成, 杉崎 千鶴子, 海老澤 元宏:消費者 庁「食物アレルギーに関連する食品表示に関する 調査研究事業」平成23年即時型食物アレルギー全 国モニタリング調査結果報告,アレルギー.2016;65(7):942-946
- 19) 柳田 紀之, 佐藤 さくら, 村田 淳子, 瀬戸 昭子, 西迫 真, 海老澤 元宏: 相模原市保育所における食物アレルギー疾患生活管理指導表を用いた食物アレルギーの実態調査, アレルギー. 2016; 65(6): 785-793
- 20) 柳田 紀之, 中村 揚子, 佐藤 さくら, 海老澤元宏: 鶏卵アレルギーの急速経口免疫療法中にオマリズマブを投与した1例,日本小児アレルギー学会誌.2016;30(2):147-154
- 21) 柳田 紀之, 佐藤 さくら, 海老澤 元宏:全卵粉 末入リジュースを用いた食物経口負荷試験の検討, アレルギー.2016;65(3):193-199
- 22) 宮沢 篤生, 今井 孝成, 板橋 家頭夫, 新生児消化管アレルギーの診断における経口負荷試験陽性の予測因子に関する前方視的多施設調査, アレルギー, 2016, 65, 776-784.
- 23) 清水 麻由, 今井 孝成, 山崎 さやか, 矢川 綾子, 宮沢 篤生, 中村 俊紀, 北條 菜穂, 石川 良子, 神谷 太郎, 板橋 家頭夫, 当施設でインフルエンザワクチンを接種した重症鶏卵アレルギー児に関する前向きケースシリーズ研究. アレルギー, 2016, 65, 128-133.
- 24) 楢林成之, 岡藤郁夫, 田中裕也, 鶴田 悟,高松 伸枝・Anaphylaxis caused by casein used in artificially marbled beef: A case report・

- Allergology International(2016) 65(341-342).
- 25) 代表者 宇理須厚雄,分担執筆 安藤仁志,飯海潔, 市川陽子,犬尾千聡,大久保悠里子,大沢香,小倉和 郎,各務美智子,金森俊輔,川口博史,川田康介,久 保とし子,小澤徹,児玉央,小松原亮,近藤久,近藤 康人,榊原三平,鈴木聖子,高松伸枝,田中健一,柘 植郁哉,辻幸余,津田こずえ,鶴田光敏,寺西映子, 土岐由香里,徳田玲子,中島陽一,中原務,成瀬徳彦, 野村孝泰,畑川恵子,早川洋一,平田典子,堀場史也, 増田進,松浦真路,松山温子,三松高一,宮田隆夫, 宮谷真正,森田豊,薮田憲治,山田一恵,山脇一夫, 湯川牧子・食物アレルギーひやりはっと事例集 2015(2016)・平成27年度消費者庁支出委任費.
- 26) 編者 宇理須厚雄,赤澤晃,伊藤浩明,伊藤節子, 今井孝成,近藤康人,高松伸枝,長谷川実穂・食 物アレルギーの子どものためのレシピ集(2016) (11~78)(独)環境再生保全機構.
- 27) 代表者 宇理須厚雄,分担執筆近藤康人,安達玲子, 安藤仁志,鈴木聖子,中島陽一,大高早希,山脇一夫, 平田典子,柘植郁哉,犬尾千聡,田中健一,大久保悠 里子,森雄司,野村孝泰,小倉和郎,高松伸枝,間 崎恵・加工食品のアレルゲン含有量早見表 2016 (2016) 平成 27 年度消費者庁政策調査費.
- 28) 塩原明世,恩田理恵,宮本佳世子,金胎芳子,桑原節子,兼平奈奈,工藤美香,高松伸枝,水上由紀,西村一弘,長浜幸子,武、敏子,片山一男・実践臨床栄養学実習(2016)第一出版(株)102~107).

2. 学会発表

なし

H.知的財産権の出願・登録状況

なし